



島根県水産技術センター

令和8年1月29日発行

トビウオ通信

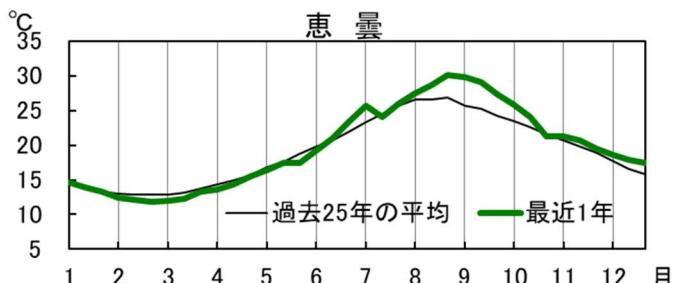
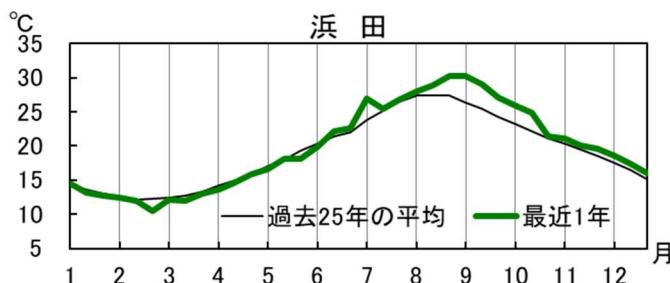
漁況速報(1月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12月の海況》



12月	浜田			恵 県		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め			かなり高め		
中旬	かなり高め	17.3°C	+1.0°C	かなり高め	18.0°C	+1.2°C
下旬	やや高め			はなはだ高め		



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の1.3倍、前年の3.2倍、サバ類は平年の3.0倍、前年の50倍でした。隠岐地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は26.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マアジは704トンで平年の1.3倍、前年の6割、ブリは489トンで平年の7割、前年の6.9倍、サバ類は34.5トンで平年の7割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではアオリイカ（全体の83%）主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は8.0kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）では12月は漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマダラ、アンコウ類、ヤリイカを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は16.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マダラは平年の2.7倍、アンコウ類は平年の2.6倍、ヤリイカは平年の3.5倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の1.8倍、ヤナギムシガレイは平年の1.2倍、ムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、アカムツは平年の1.0倍、ソウハチおよびマダイは平年の6割、キダイは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではヤリイカ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は171トンでした。1統1航海当たりの漁獲量は813kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ヤリイカは平年の2.4倍、ソウハチは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、ムシガレイは平年の1.3倍、マトウダイは平年の1.1倍、キダイは平年の1.0倍、アカムツおよびニギスは平年の8割、アンコウ類は平年の6割、マダラは平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当たりの漁獲量は20.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の2.0倍、ブリは平年の2.6倍、マアジは平年の2.0倍でした。石見地区ではサワラ類、ブリ、カワハギ類主体の漁況で、1経営体当たりの漁獲量は4.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の7.9倍、ブリは平年の2.9倍、カワハギ類は平年の2.8倍でしたが、例年漁獲されるマアジ、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当たりの漁獲量は3.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の1.4倍、サバ類は平年の9.5倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は30.8kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の1.4倍、ブリは平年の1.5倍、クロマグロは平年の1.1倍でした。石見地区ではクロマグロ、ブリ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は22.3kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の9割、ブリは平年の1.1倍、ヒラマサは平年の9割でした。隠岐地区ではクロマグロ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は25.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の5割、ブリは平年の4割でした。

【令和7年12月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隱岐	マアジ、ブリ	1,246トン	92%	87%	26.0トン	90%	112%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	アオリイカ	24.0 kg	300%	8%	8.0 kg	100%	39%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マダラ、アンコウ類、ヤリイカ	245トン	120%	109%	16.3トン	112%	109%
小型 底びき網	大田	ヤリイカ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	171トン	140%	100%	813 kg	103%	100%
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ、マアジ	223トン	152%	152%	20.3トン	166%	155%
	石見	サワラ類、ブリ、カワハギ類	19.4トン	111%	75%	4.8トン	111%	75%
	隱岐	マアジ、サバ類	11.2トン	39%	90%	3.7トン	39%	87%
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ、クロマグロ	23.3トン	197%	122%	30.8 kg	114%	98%
	石見	クロマグロ、ブリ、ヒラマサ	15.4トン	135%	87%	22.3 kg	84%	81%
	隱岐	クロマグロ、ブリ	7.7トン	118%	51%	25.7 kg	133%	90%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当たり漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2°C程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5°C程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1°C程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5°C程度の高さ